

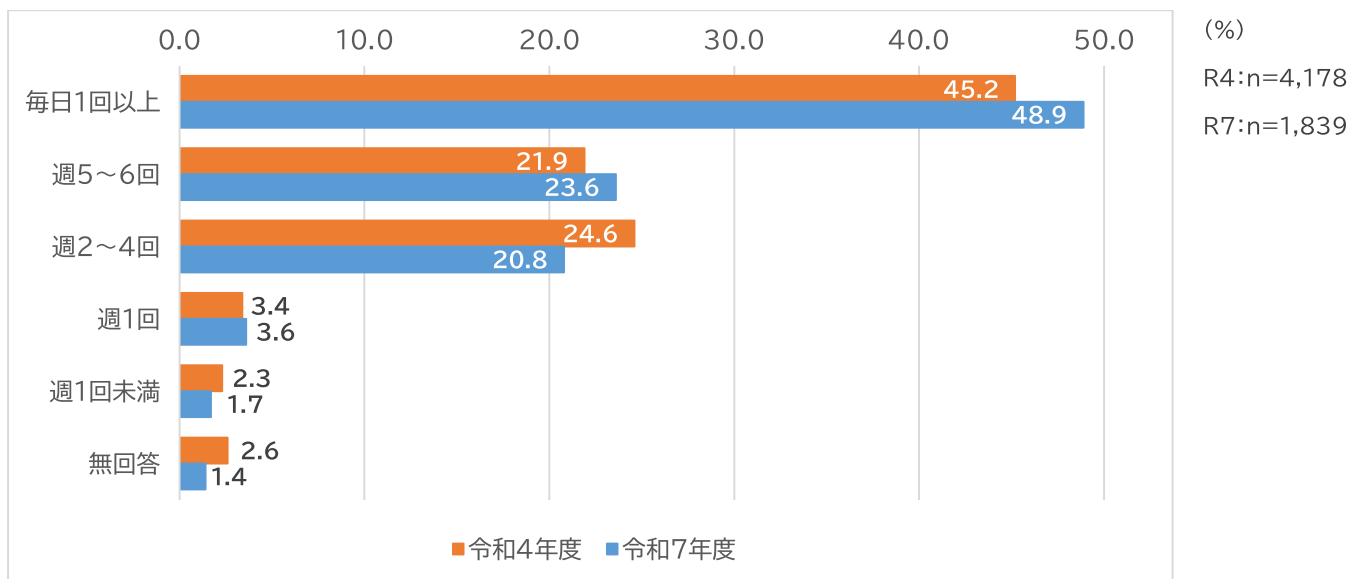
豊島区高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画策定に向けた アンケート調査報告書(抜粋)

※令和7年度に新設した設問には★を付けています。

1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

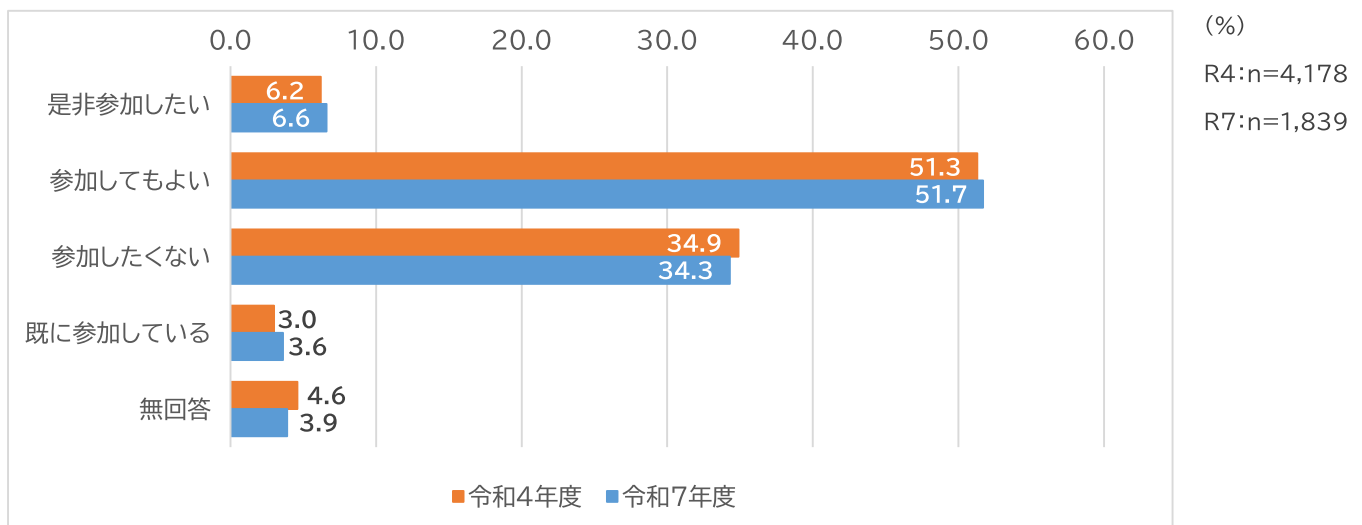
問5 普段、あなたはどのくらいの頻度で外出していますか。(ひとつだけ○)

普段どのくらいの頻度で外出しているかについては、令和4年度、令和7年度ともに「毎日1回以上」が最も多くなっており、令和4年度と比較して3.7ポイント増加しています。



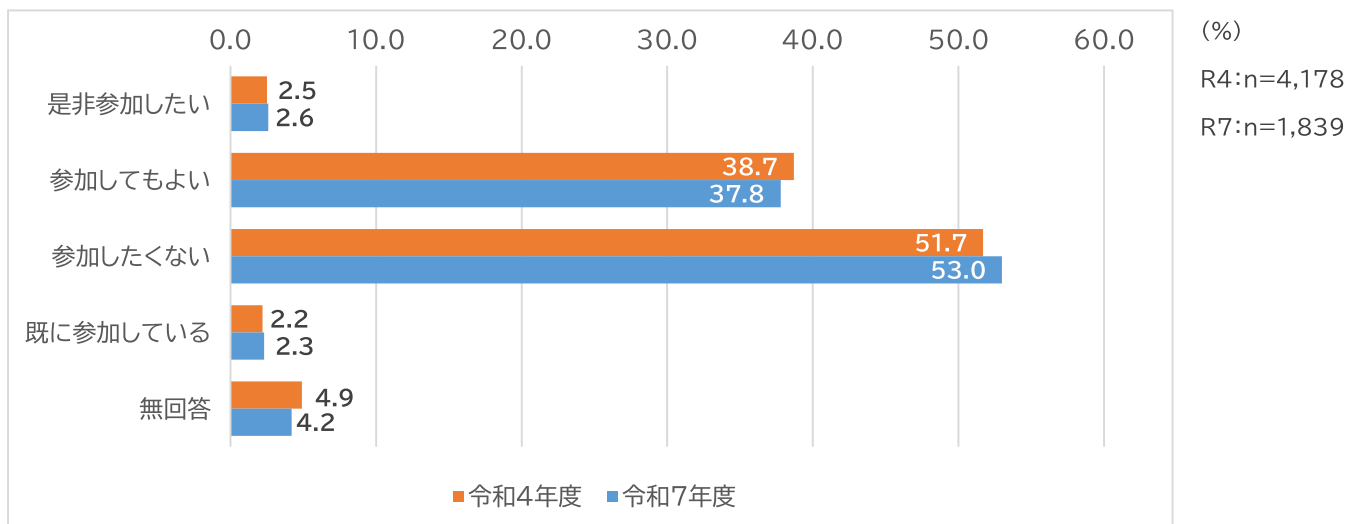
問31 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に、参加者として参加してみたいと思いますか。(ひとつだけ○)

社会活動への参加者としての参加意向について、「是非参加したい」または「参加してもよい」と回答した割合は、令和4年度の57.5%から令和7年度の58.3%と0.8ポイント増加しています。



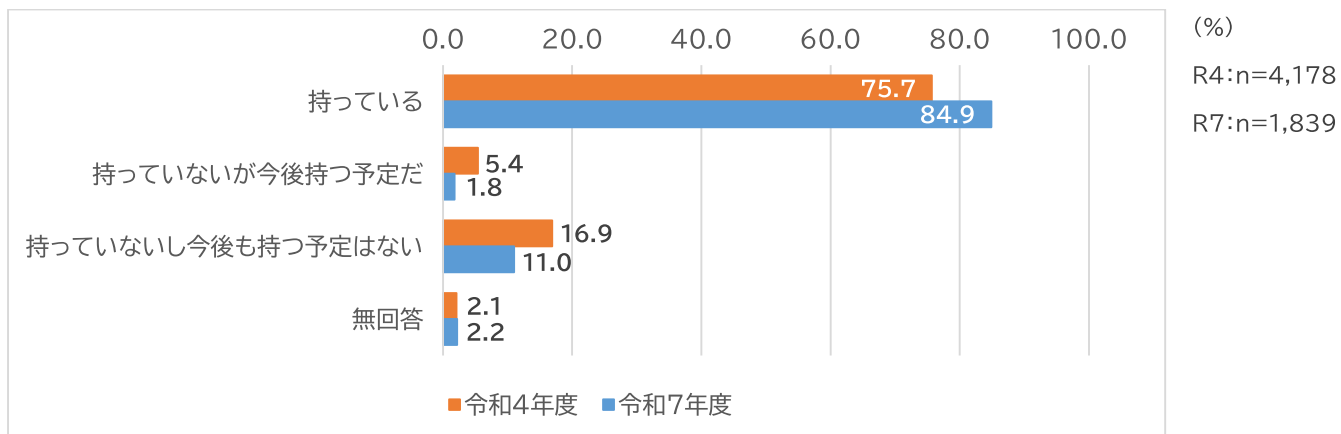
問32 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に、企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。
(ひとつだけ○)

社会活動への企画・運営としての参加意向について、「是非参加したい」または「参加してもよい」と回答した割合は、令和4年度の41.2%から令和7年度の40.4%と0.8ポイント減少しています。



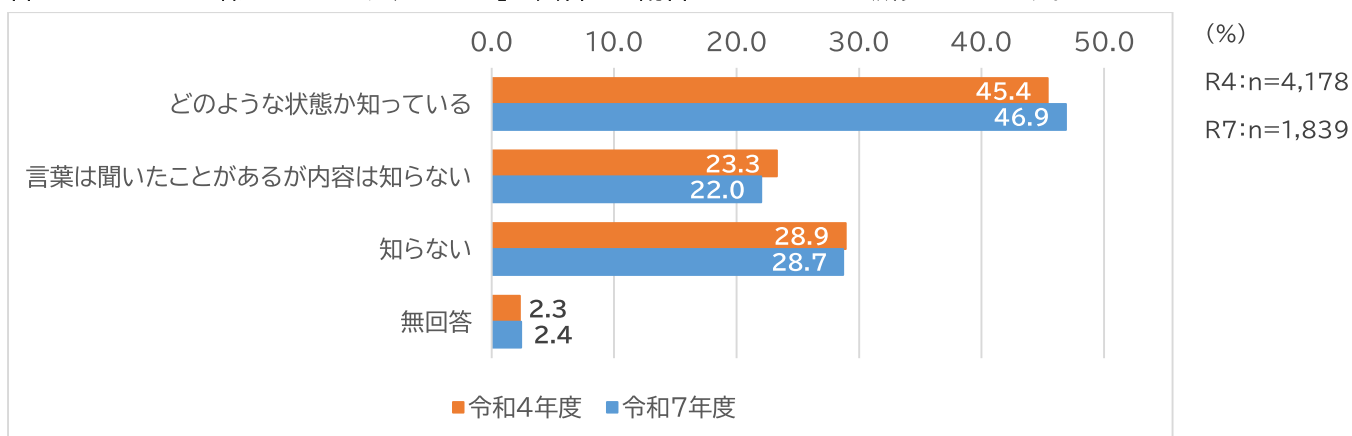
問49 あなたはスマートフォンを持っていますか。(ひとつだけ○)

スマートフォンの所持については、令和4年度、令和7年度ともに「持っている」と回答した割合が最も多くなっており、令和4年度と比較して9.2ポイント増加しています。



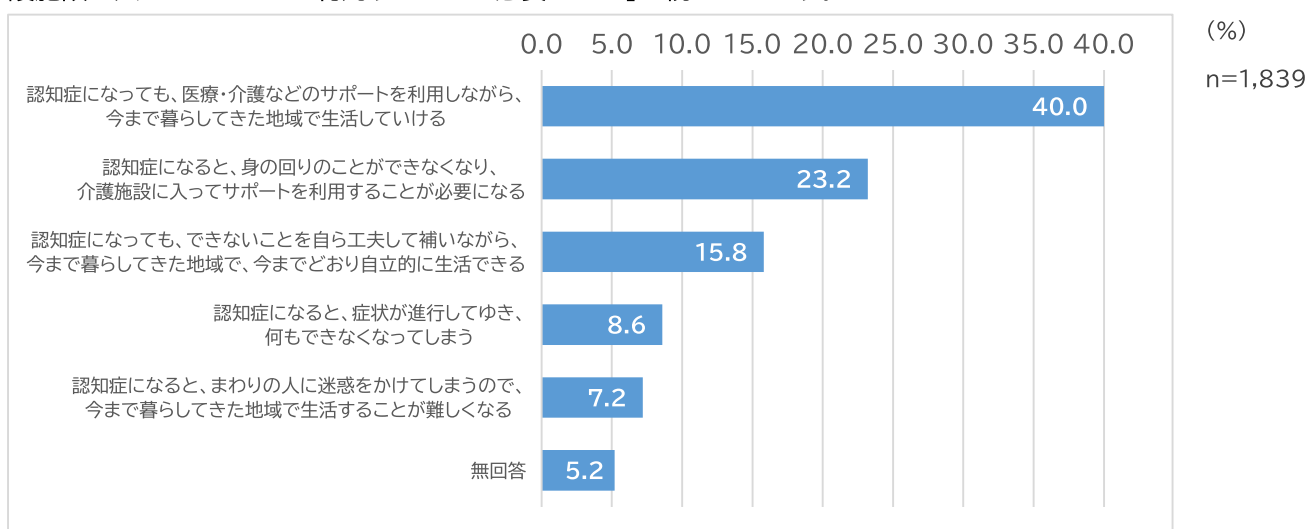
問 51 あなたは、フレイルという状態についてご存じですか。(ひとつだけ○)

フレイルの認知については、令和 4 年度と令和 7 年度を比較して「どのような状態か知っている」と回答した割合は 1.5 ポイント増加しており、「知らない」と回答した割合は 0.2 ポイント減少しています。



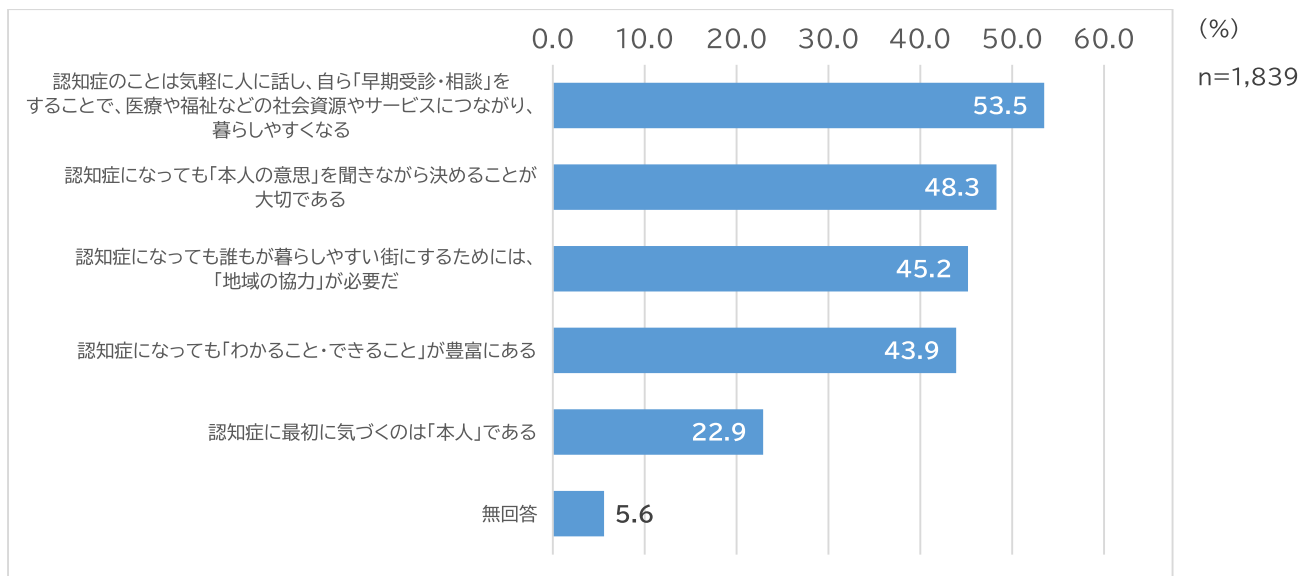
問 53 あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。(ひとつだけ○)

認知症に対するイメージについては、「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」が最も多くなっており、「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」と続いています。



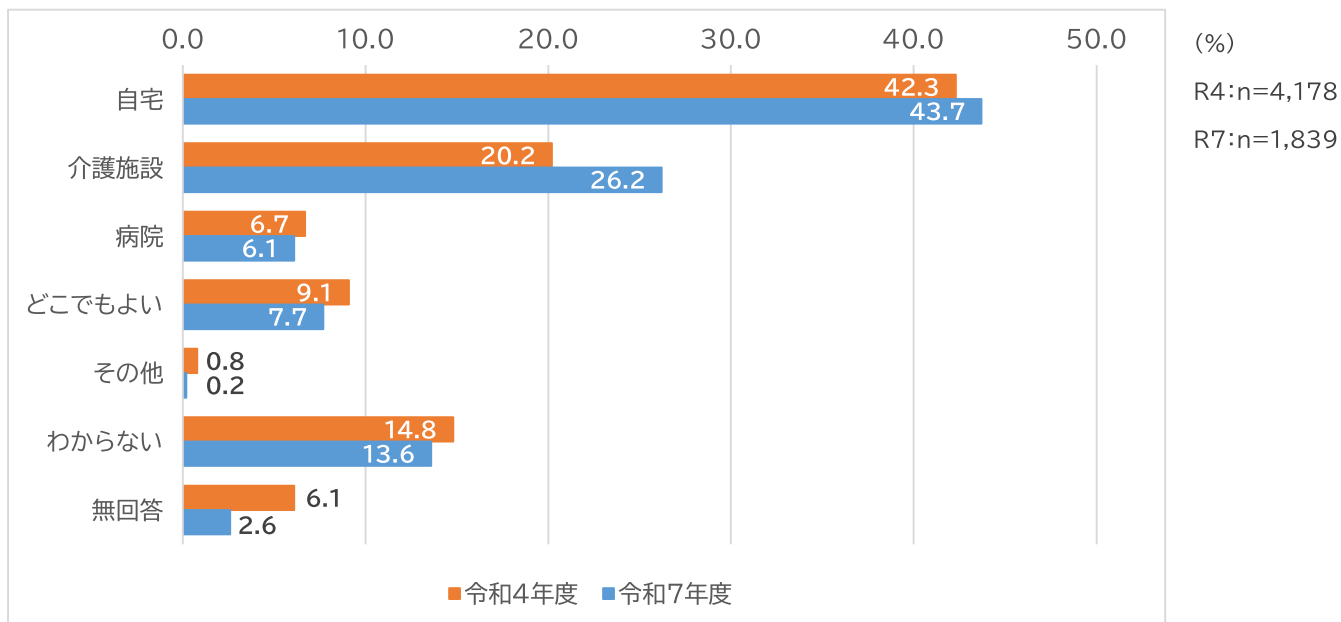
問 54 認知症について、あなたが「そうだと思うこと」はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

認知症について思うことについては、「認知症のことは気軽に人に話し、自ら「早期受診・相談」をすることで、医療や福祉などの社会資源やサービスにつながり、暮らしやすくなる」が最も多くなっています。



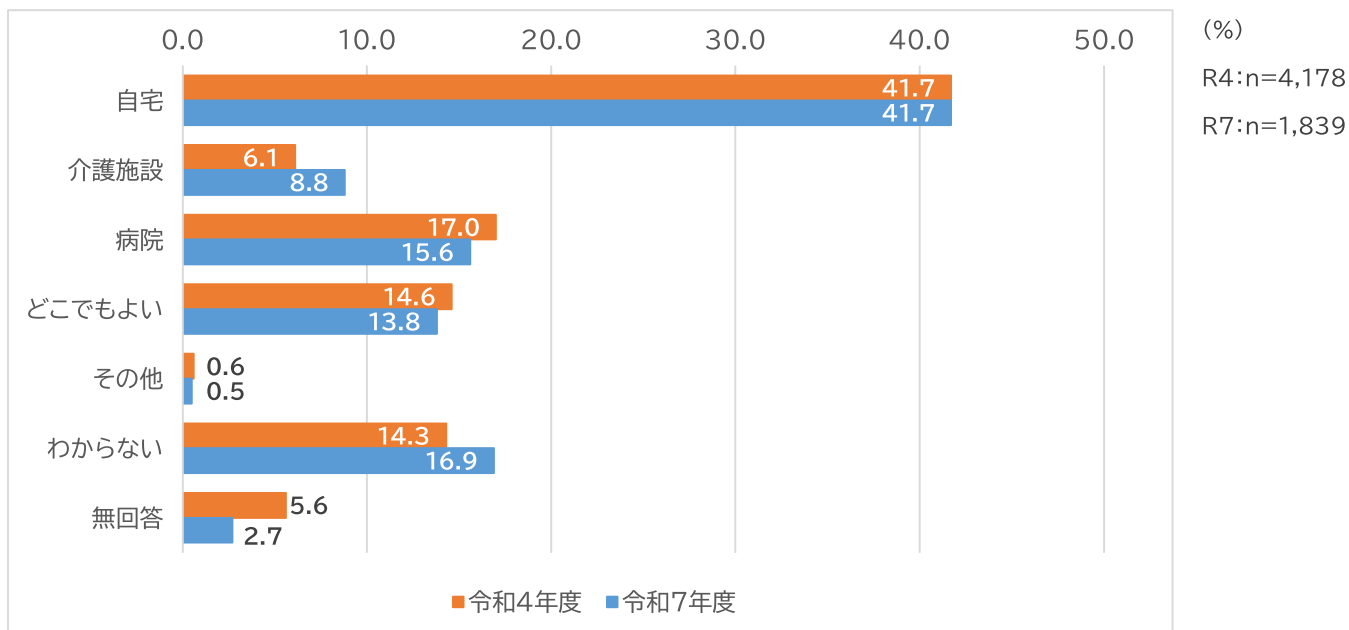
問 60 あなたは、介護が必要になったとき、または今よりも重くなったとき、どこで介護を受けたいですか。(ひとつだけ○)

介護を受けたい場所については、令和 4 年度、令和 7 年度ともに「自宅」が最も多くなっており、介護が必要になったとき、または介護度が重くなったときも自宅で介護を受けたいというニーズが高いことが分かります。



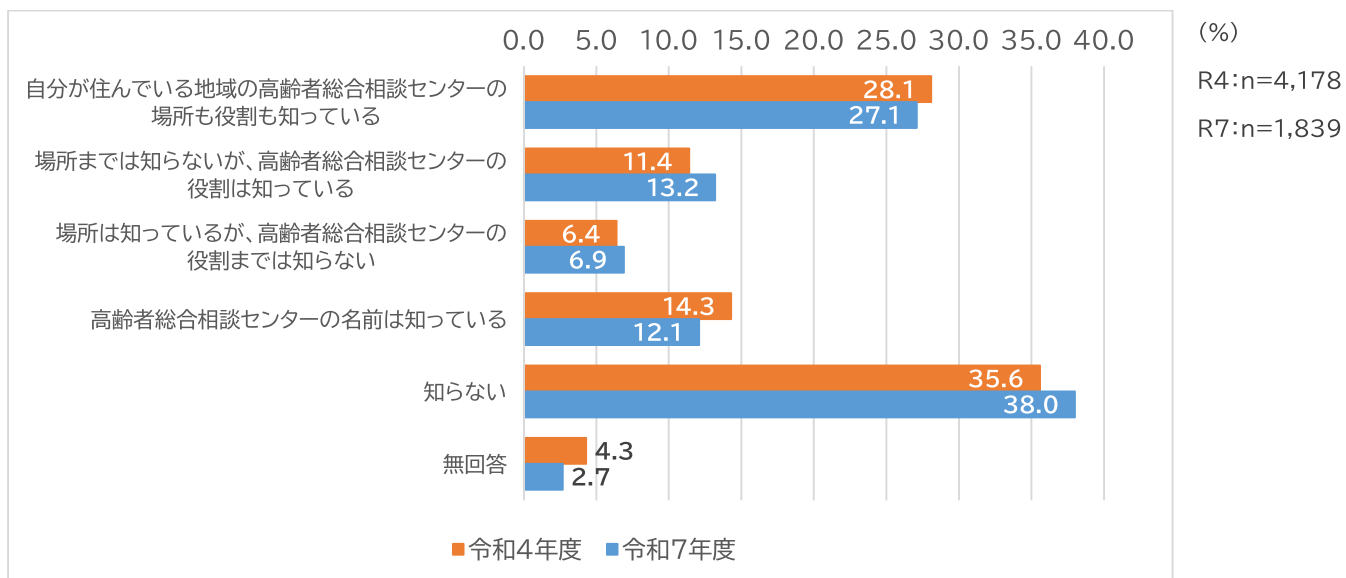
問 61 あなたは、人生の最期を迎える場所としてどこを希望しますか。(ひとつだけ○)

人生の最期を迎える場所の希望については、令和 4 年度、令和 7 年度ともに「自宅」が最も多くなっています。



問 65 豊島区では高齢者の心身の健康と生活の安定のための相談窓口として、区内 8 か所に高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)を設置しています。あなたは、高齢者総合相談センターを知っていますか。(ひとつだけ○)

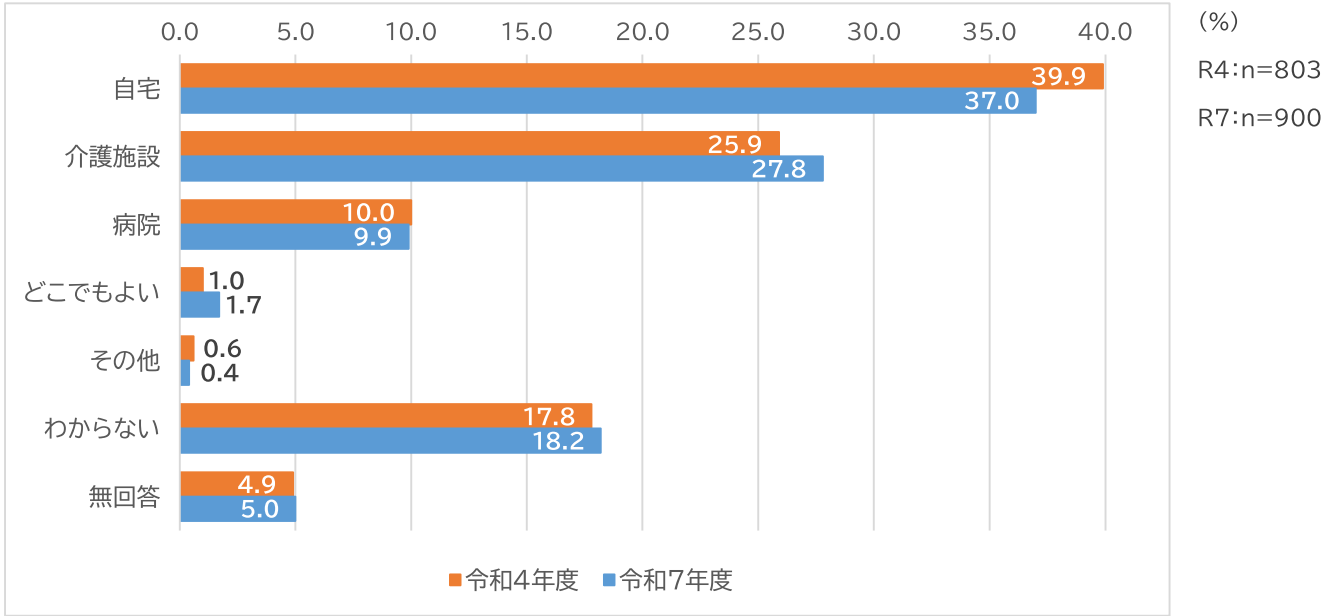
「高齢者総合相談センターの“場所も役割も”知っている」もしくは「“場所または役割”を知っている」、「“名前”は知っている」と回答した割合は、令和 4 年度の 60.2%から令和 7 年度の 59.3%と 0.9 ポイント減少しています。



2.要介護認定者調査

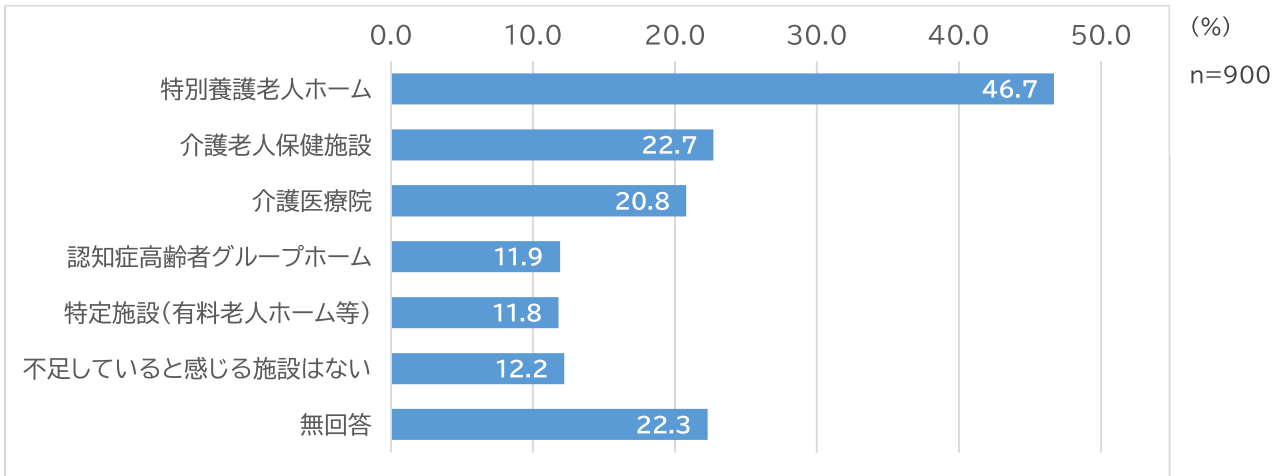
問 13 あなたの介護度が現在より悪化した場合、どこで介護を受けたいですか。(ひとつだけ○)

介護度が悪化した場合にどこで介護を受けたいかについて、令和4年度と比較して「自宅」が2.9ポイント減少し、「介護施設」が1.9ポイント増加していますが、依然として介護度が悪化しても自宅で介護を受けたいというニーズが高いことが分かります。



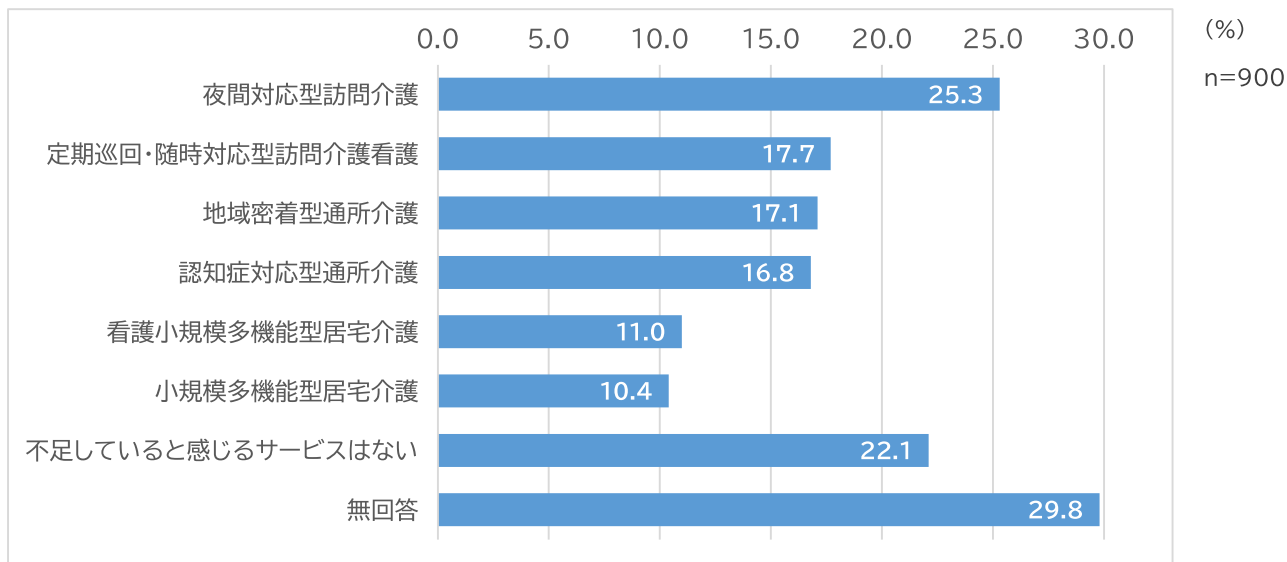
★問 18 あなたが施設に入ることを希望したときに、区内で不足していると感じる施設はありますか。(あてはまるものすべてに○)

施設入所を希望したときに、不足していると感じる施設については、「特別養護老人ホーム」が最も多くなっています。



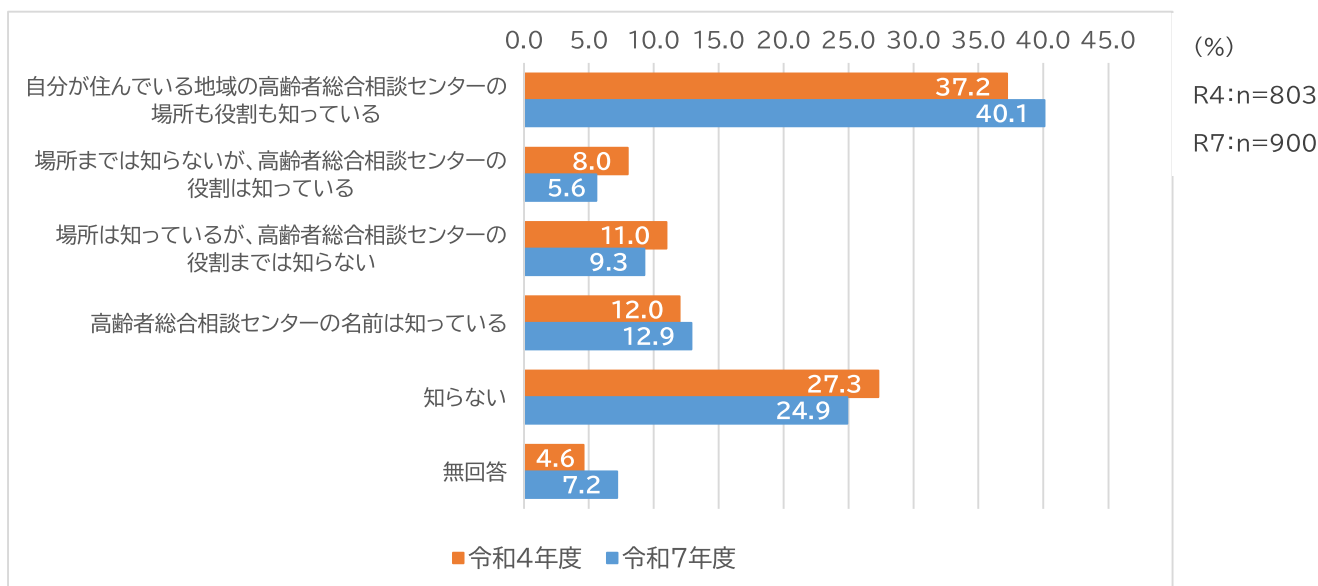
★問 19 あなたが地域密着型サービスを希望したときに、区内で不足していると感じるサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

地域密着型サービスを希望したときに不足していると感じるサービスについては、「夜間対応型訪問介護」、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」と続いており、訪問系サービスが不足していると感じる方が多いことが分かります。



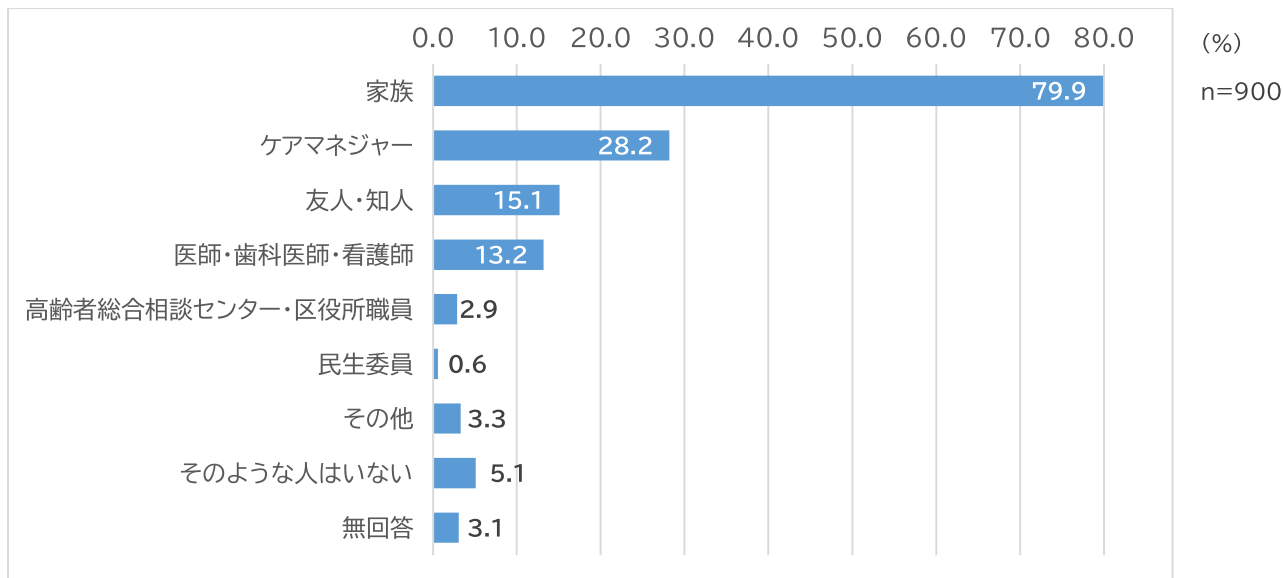
問 22 豊島区では、高齢者の心身の健康と生活の安定のための相談窓口として、区内に高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)を設置しています。あなたは、高齢者総合相談センターを知っていますか。(ひとつだけ○)

「高齢者総合相談センターの“場所も役割も”知っている」もしくは「“場所または役割”を知っている」、「“名前”は知っている」と回答した割合は、令和4年度の68.2%から令和7年度の67.9%と0.3ポイント減少していますが、「場所も役割も知っている」と回答した方の割合は2.9ポイント増加しています。



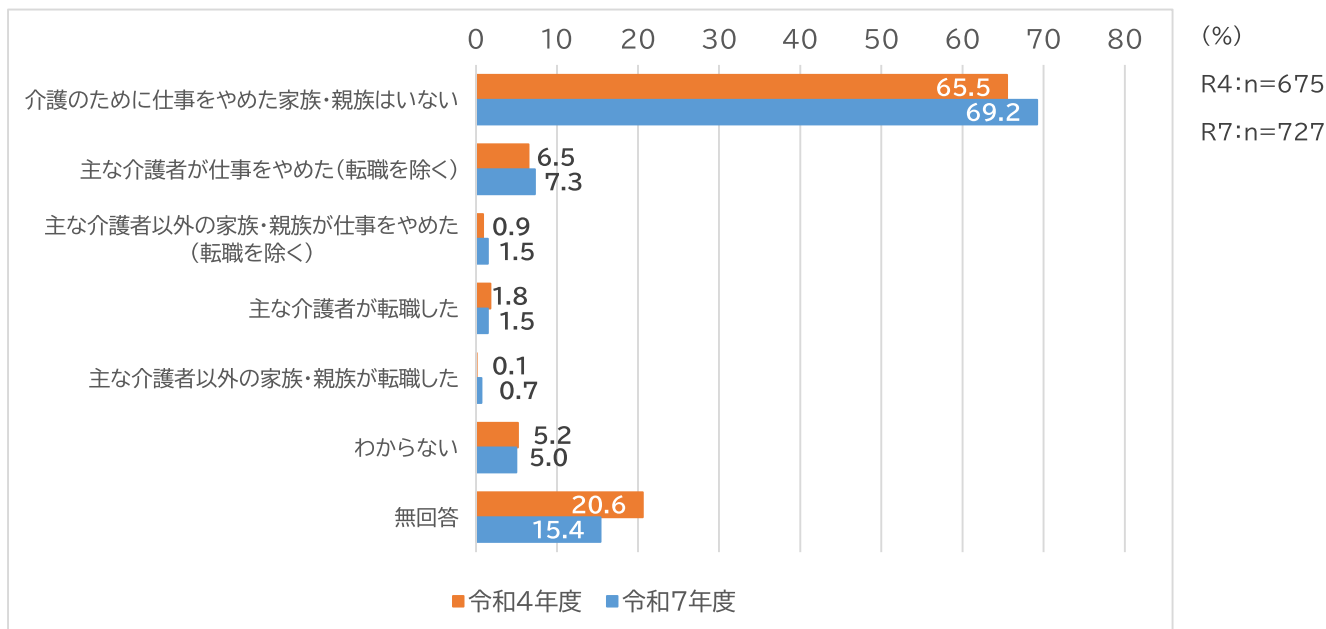
★問 29 あなたの思いや望みを聞いてくれる人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

思いや望みを聞いてくれる人については、「家族」が最も多くなっています。



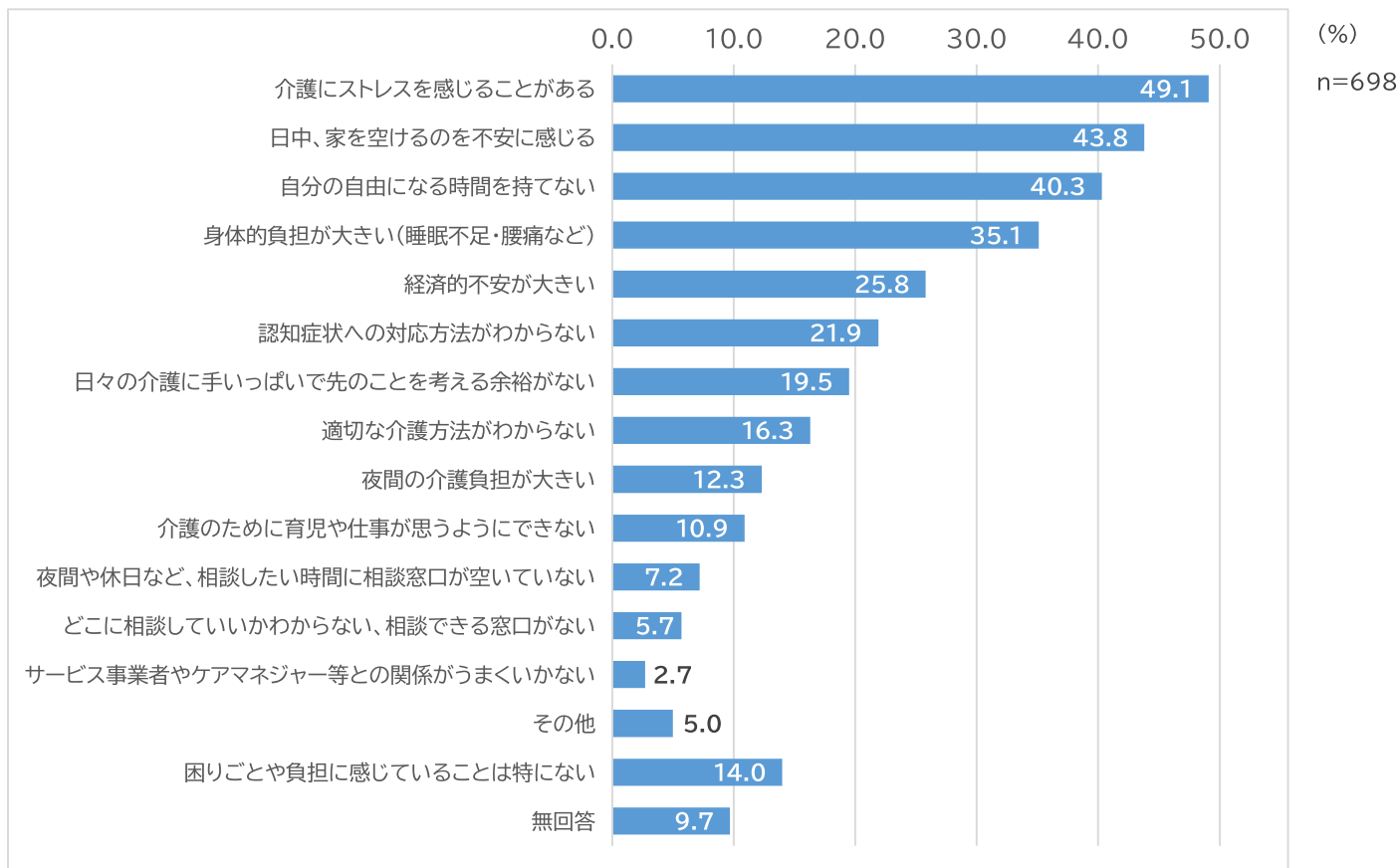
問 38 ご家族やご親族の中で、あて名のご本人の介護を主な理由として、過去1年間に仕事をやめた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。)(あてはまるものすべてに○)

介護を理由とした主な介護者の離職状況については、令和4年度、令和7年度ともに「介護のために仕事をやめた家族・親族はいない」が最も多くなっています。一方で、令和7年度の「主な介護者が仕事をやめた」と回答した割合については、令和4年度と比較して0.8ポイント増加しています。



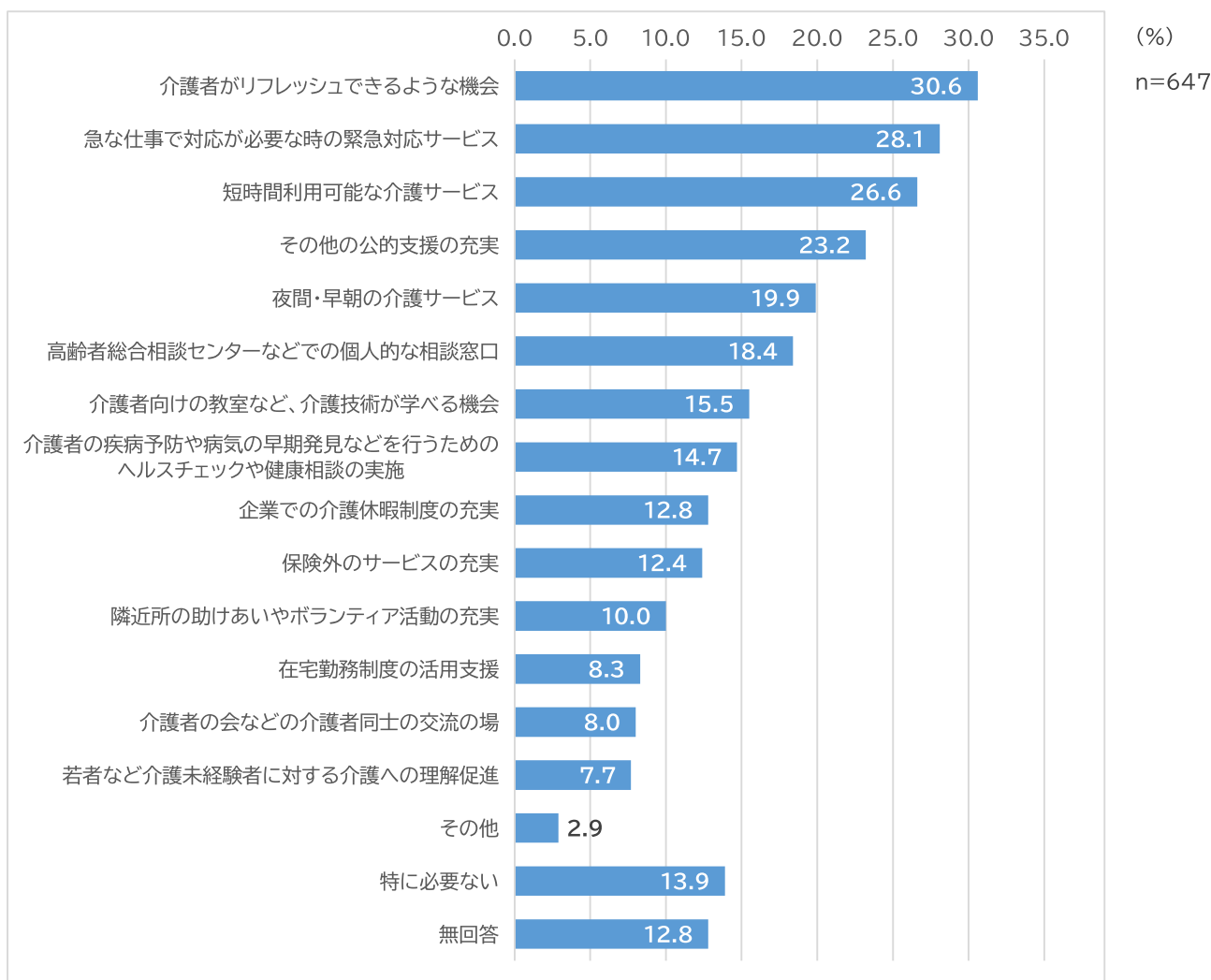
★問 40 介護をしていて、主な介護者の方が困ったことや負担に感じることは、どのようなことですか。
 (あてはまるものすべてに○)

介護をしていて主な介護者が困ったこと、負担に感じることについては、「介護にストレスを感じることもある」が最も多くなっています。



問 41 在宅介護を継続するにあたって、主に介護をしている方が、介護者支援として充実を望むことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

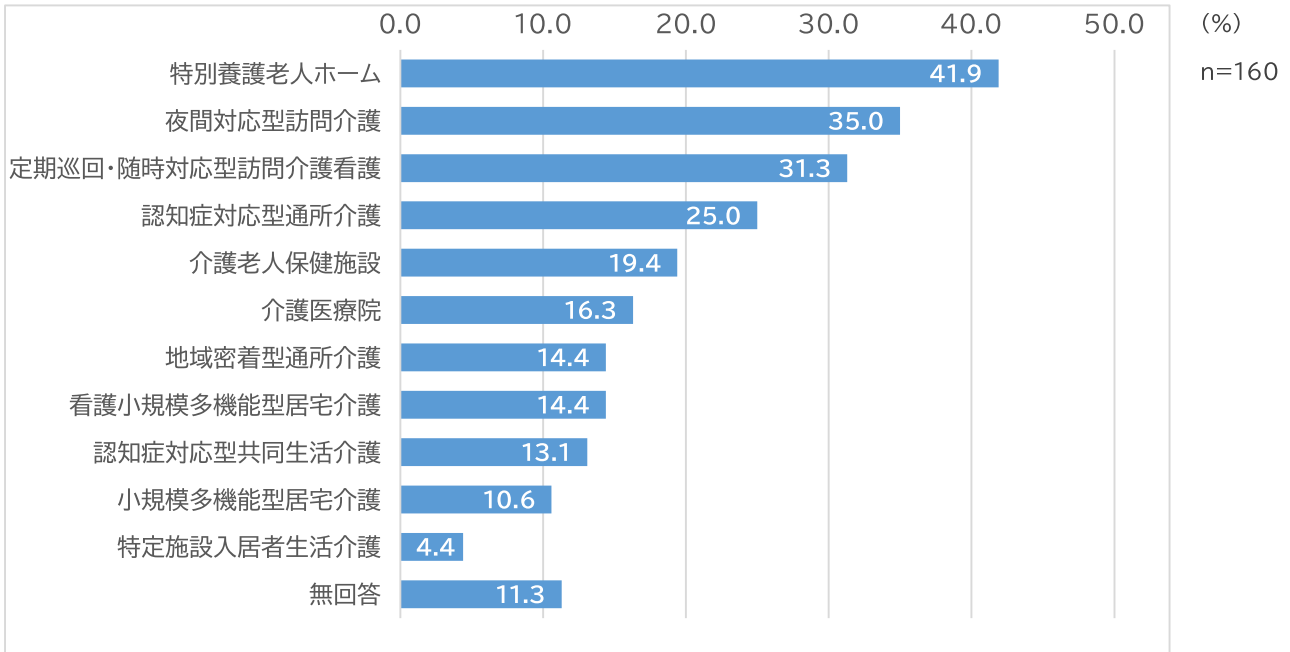
主な介護者が介護者支援として充実を望むことについては、「介護者がリフレッシュできるような機会」が最も多くなっています。次いで「緊急対応サービス」や「短時間利用可能なサービス」と続いていることから、柔軟な対応ができる介護サービスの充実を望んでいることが分かります。



3.ケアマネジャー調査

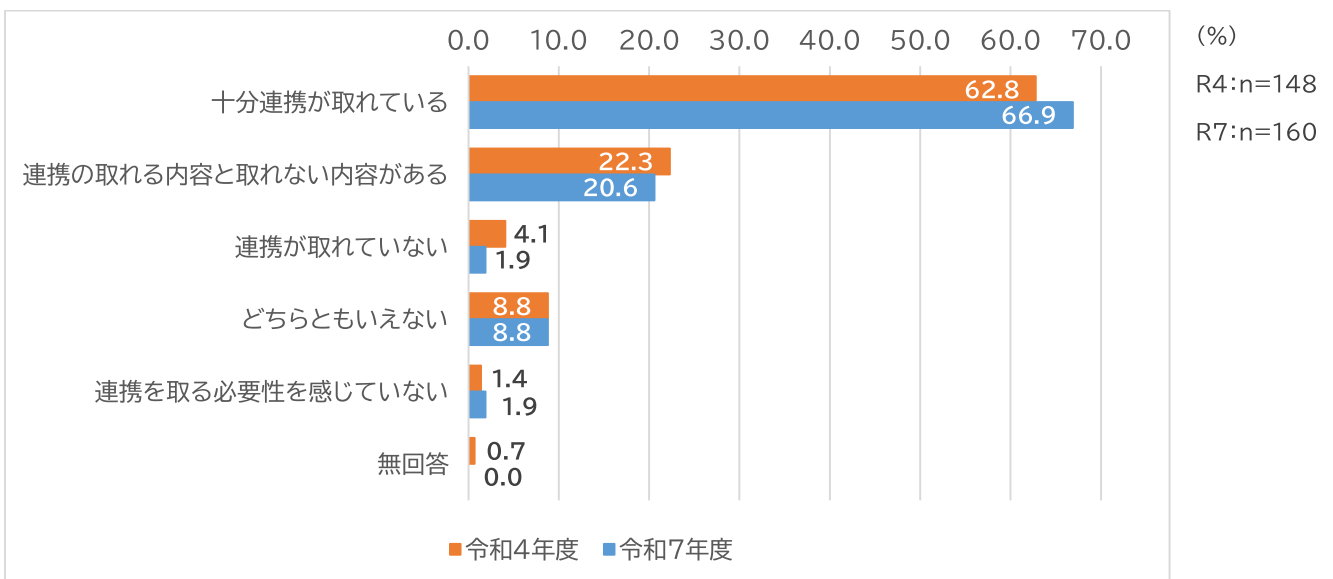
★問8 あなたは、ケアマネジャーの立場から、地域密着型サービスの利用や介護保険施設の入所を検討する時に、区内に不足していると感じるサービス及び施設はありますか。(3つまで○)

区内に不足していると感じる地域密着型サービス及び施設については、「特別養護老人ホーム」が最も多くなっています。



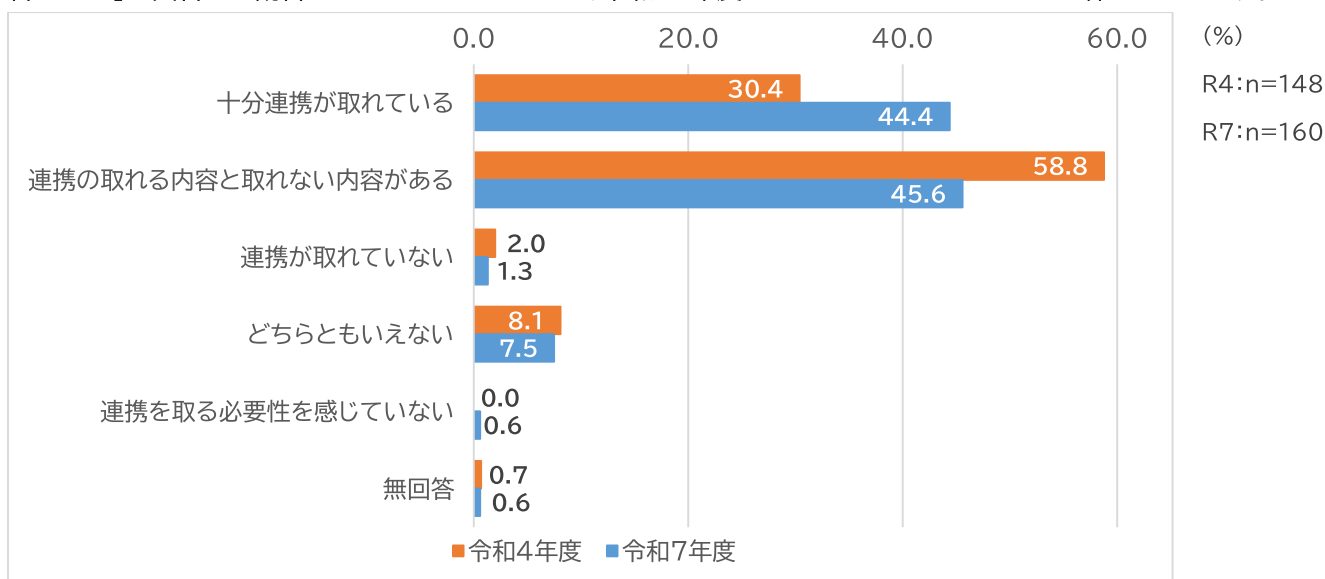
問18 あなたは、現在、高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)との連携は取れていますか。(ひとつだけ○)

高齢者総合相談センターとの連携については、令和4年度と比較して「十分連携が取れている」と回答した割合は4.1ポイント増加しています。また、令和7年度に「十分連携が取れている」または「連携の取れる内容と取れない内容がある」と回答した割合は87.5%となっており、令和4年度の85.1%から2.4ポイント増加しています。



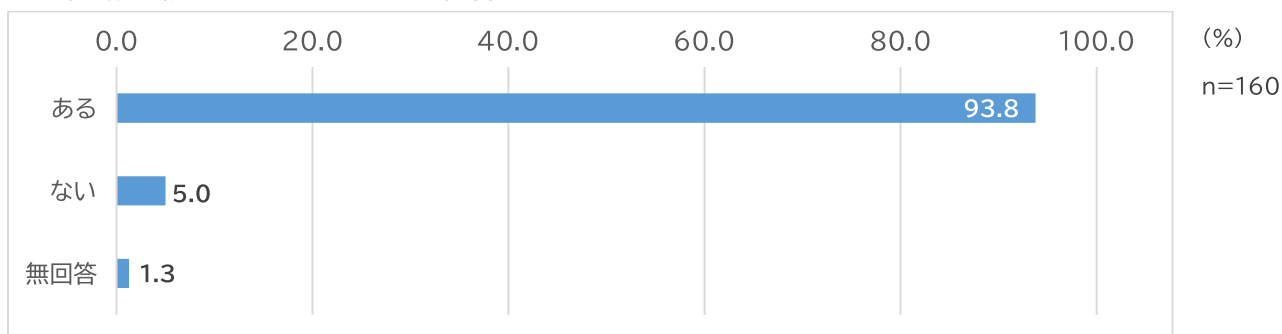
問20 あなたは、現在、医療機関との連携は取れていますか。(ひとつだけ○)

医療機関との連携については、令和7年度に「十分連携が取れている」または「連携の取れる内容と取れない内容がある」と回答した割合は90.0%となっており、令和4年度の89.2%から0.8ポイント増加しています。



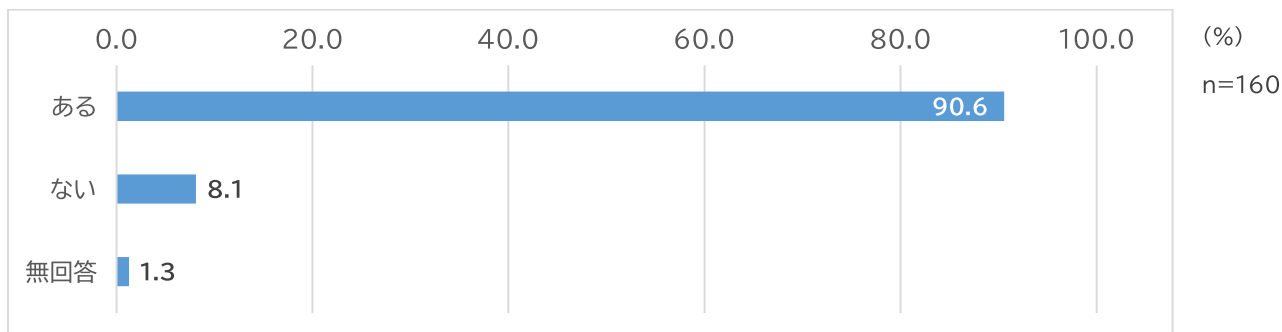
★問31 法外支援(ケアマネジャーの業務以外)を頼まれたことはありますか。(ひとつだけ○)

法外支援を頼まれたことがある方の割合は、93.8%となっています。



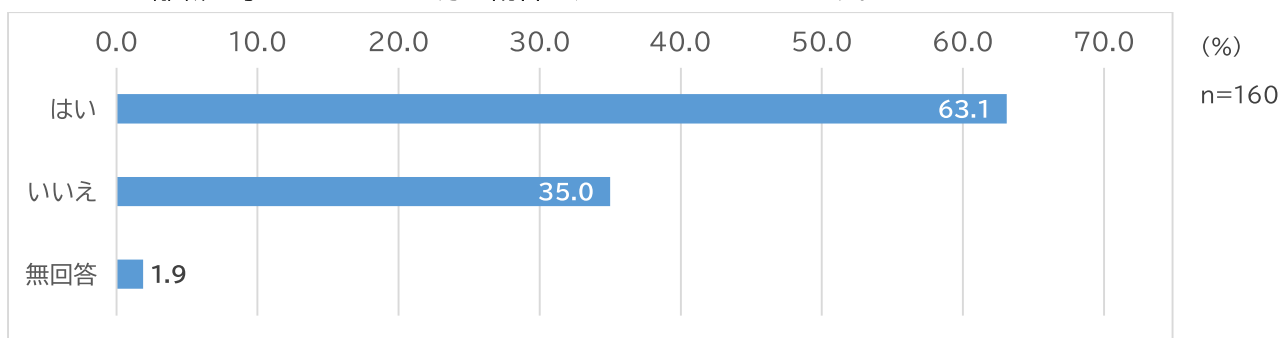
★問32 実際に法外支援(ケアマネジャーの業務以外)を行ったことはありますか。(ひとつだけ○)

法外支援を実際に行ったことがある方の割合は、90.6%となっています。



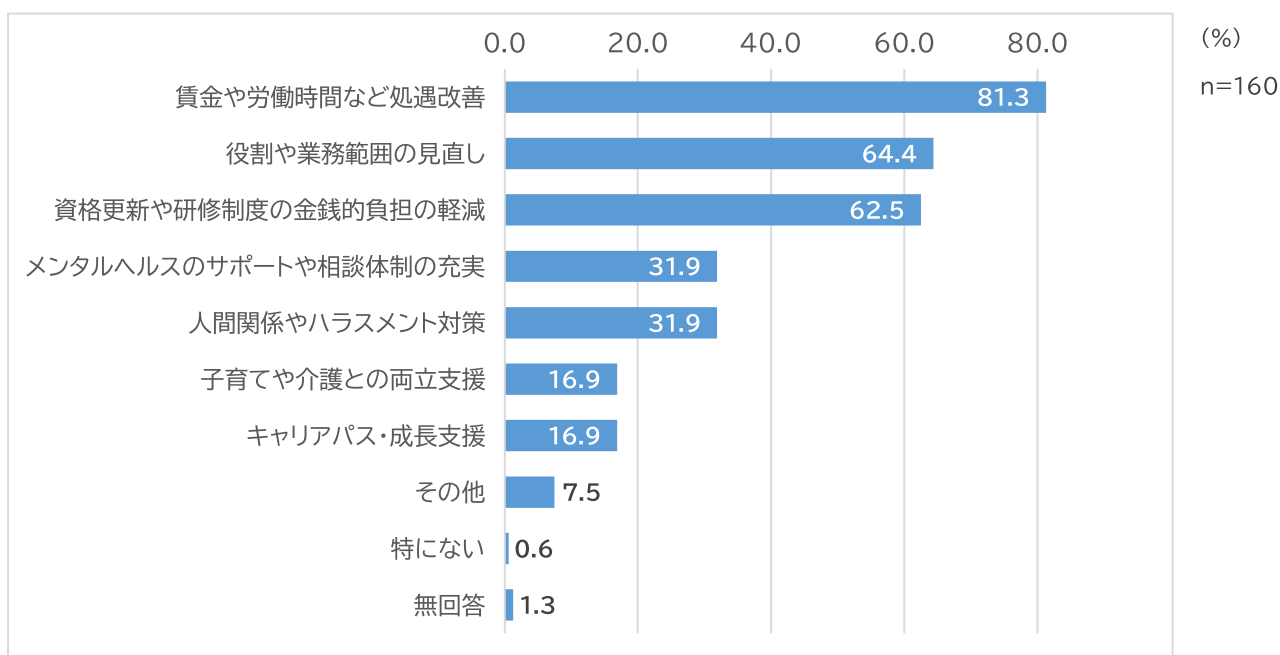
★問 33 あなたは、これまでにケアマネジャー業務に従事する中で、離職を考えたことがありますか。
(ひとつだけ○)

これまでに離職を考えたことがある方の割合は、63.1%となっています。



★問 34 あなたが必要と感じる、ケアマネジャーの離職防止のための支援を教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

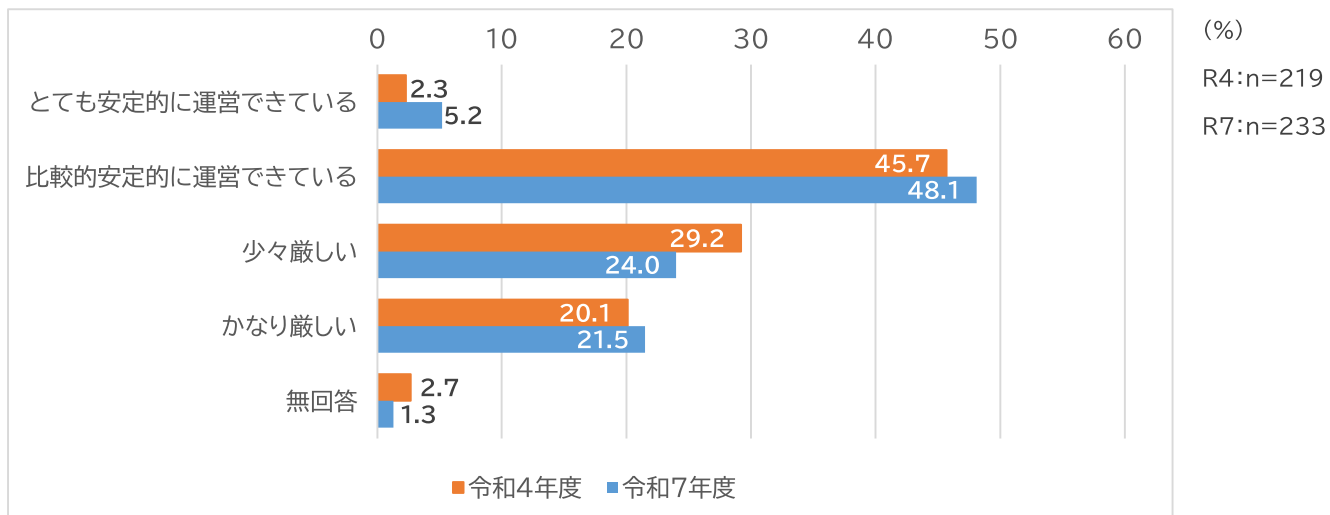
必要と感じる離職防止のための支援については、「賃金や労働時間などの処遇改善」が最も多くなっており、「役割や業務範囲の見直し」、「資格更新や研修制度の金銭的負担の軽減」と続いています。



4.介護サービス事業所調査

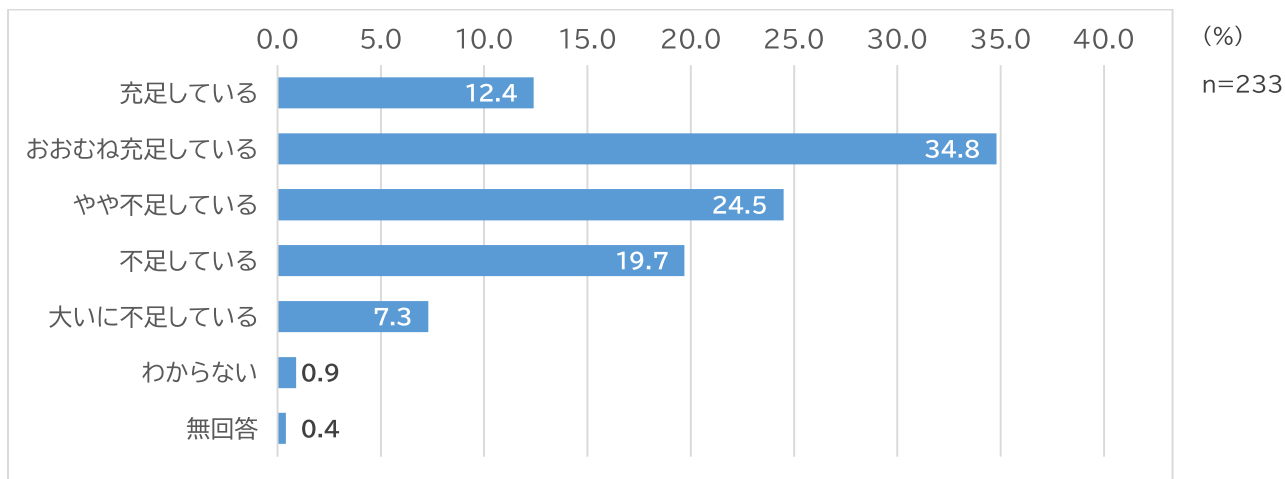
問4 貴事業所の、経営状況についてお答えください。(ひとつだけ○)

経営状況について、令和4年度と比較すると「とても安定的に運営できている」と回答した割合が2.9ポイント増加している一方で、「かなり厳しい」と回答した割合も1.4ポイント増加しています。



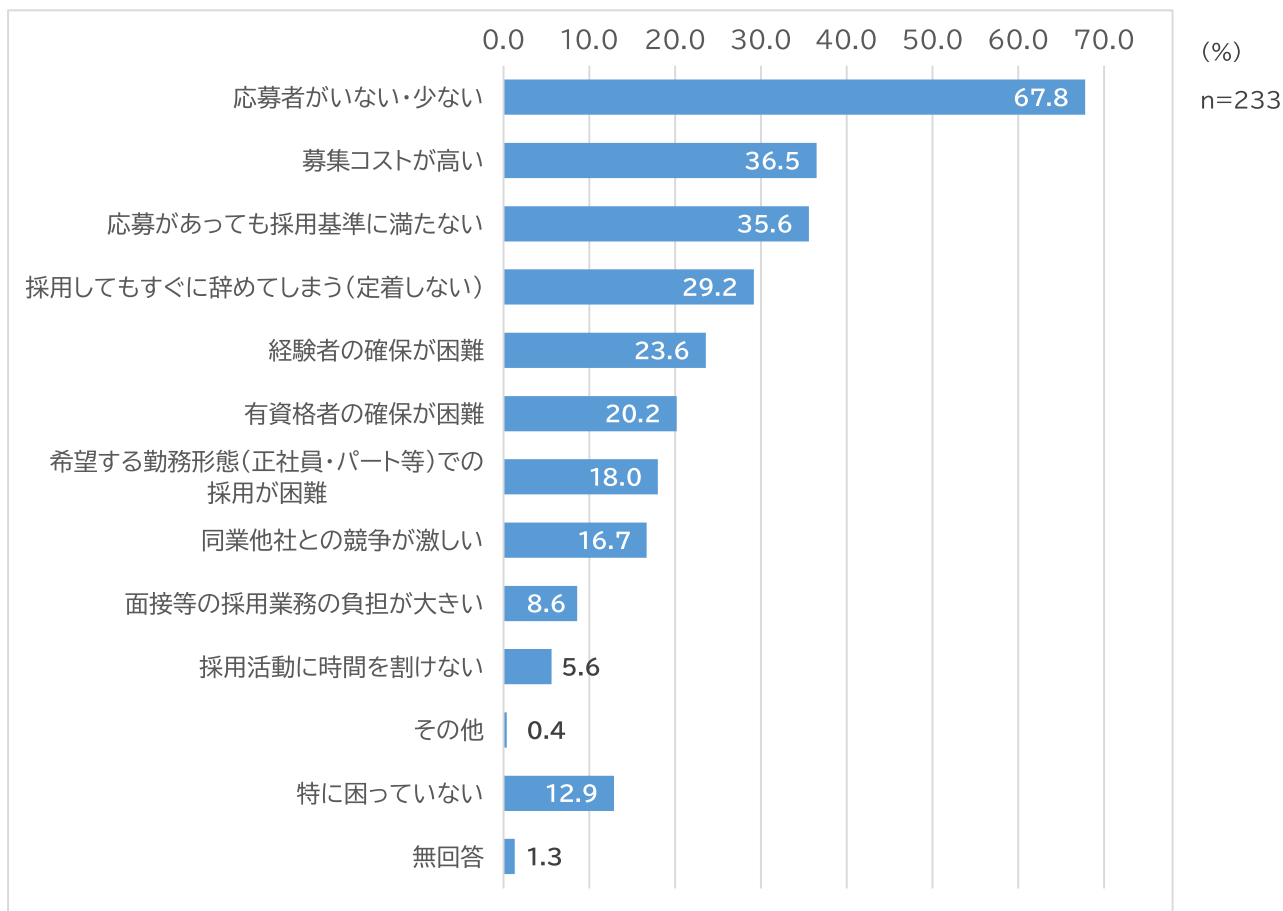
★問10 貴事業所の職員配置の現在の状況をお聞かせください。(ひとつだけ○)

職員の配置状況については、「おおむね充足している」と回答した事業所が最も多くなっている一方で、「やや不足している」または「不足している」と回答した事業所は44.2%となっており、約半数の事業所は職員が不足していると感じていることが分かります。



★問 12 貴事業所では、人材確保でどのようなことに困っていますか。(あてはまるものすべてに○)

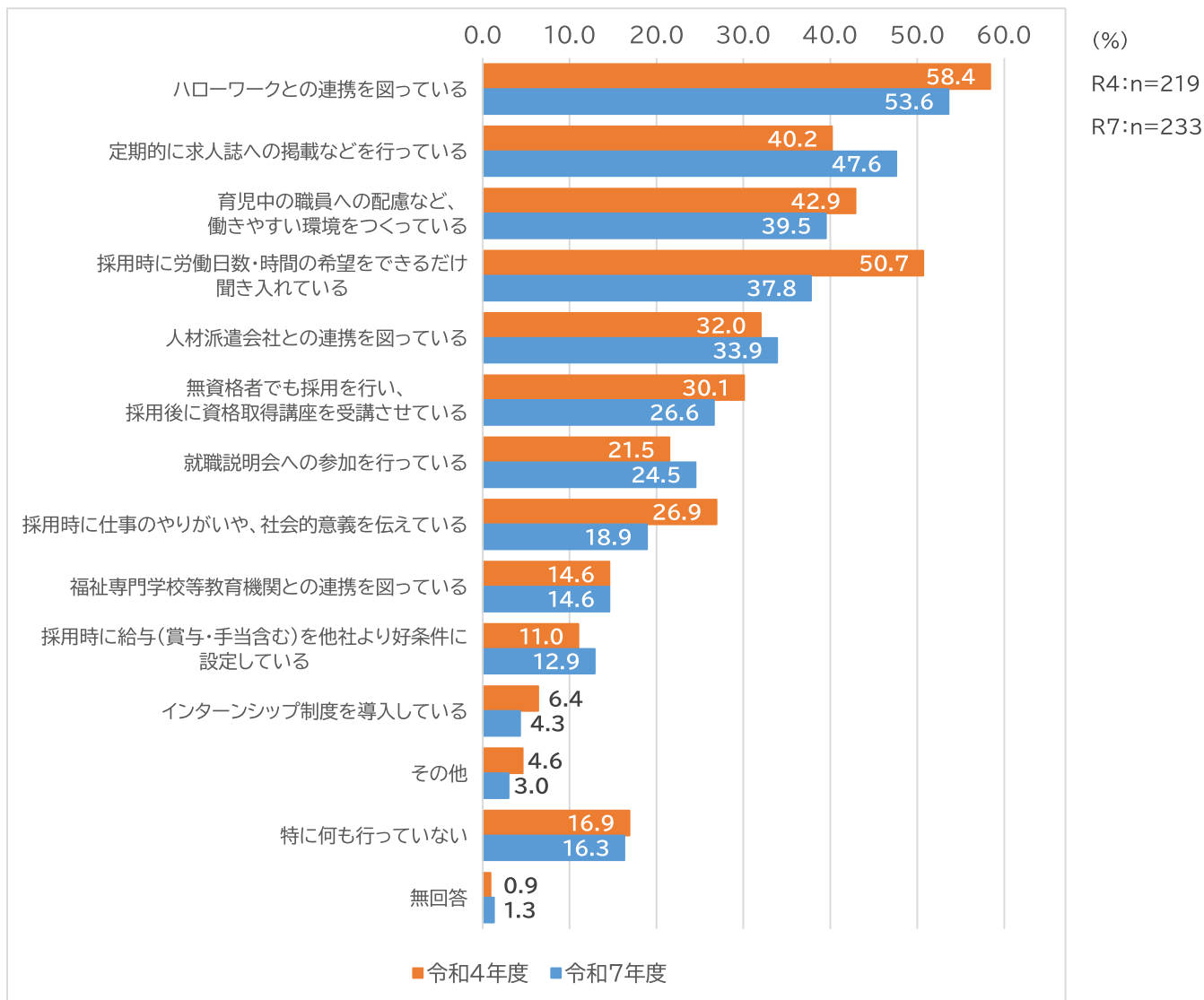
人材確保での困りごとについては、「応募者がいない・少ない」が最も多くなっています。



問 13 貴事業所では、人材の確保に向けて、どのような取り組みを行っていますか。

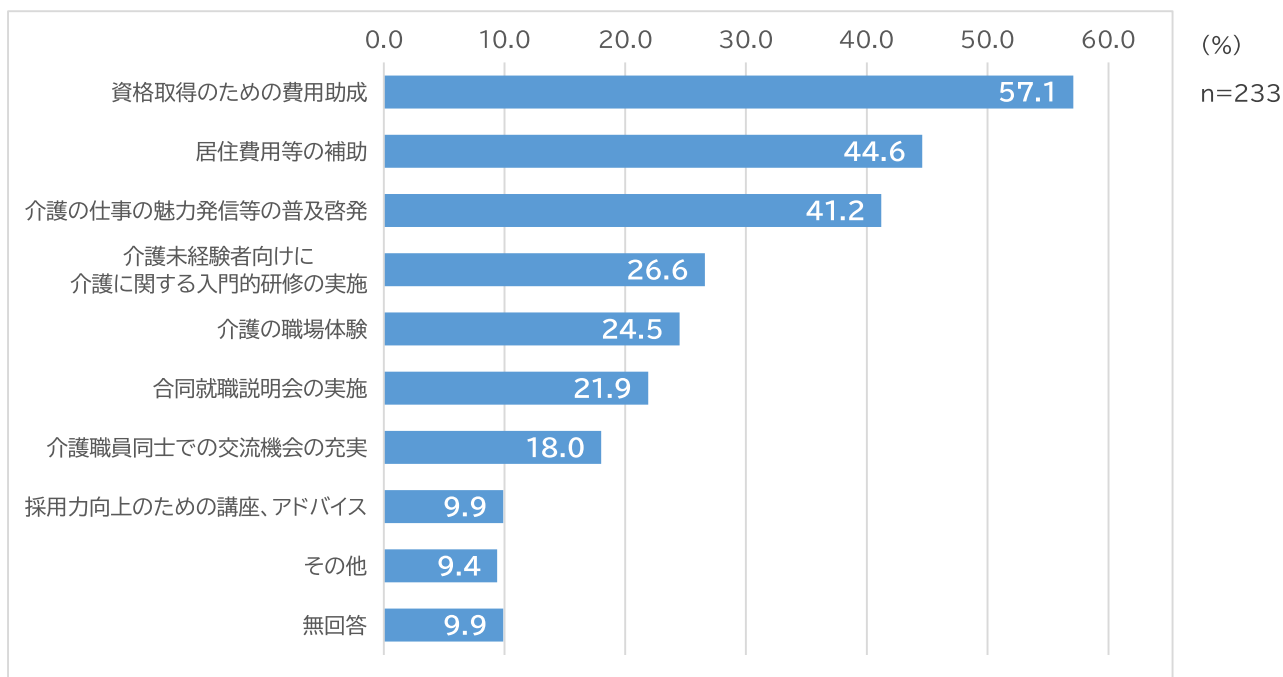
(あてはまるものすべてに○)

介護人材確保に向けて行っている取り組みについては、令和4年度、令和7年度ともに「ハローワークとの連携を図っている」、「定期的に求人誌への掲載などを行っている」が多くなっています。



問 14 人材の確保に向けてどのような公的支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

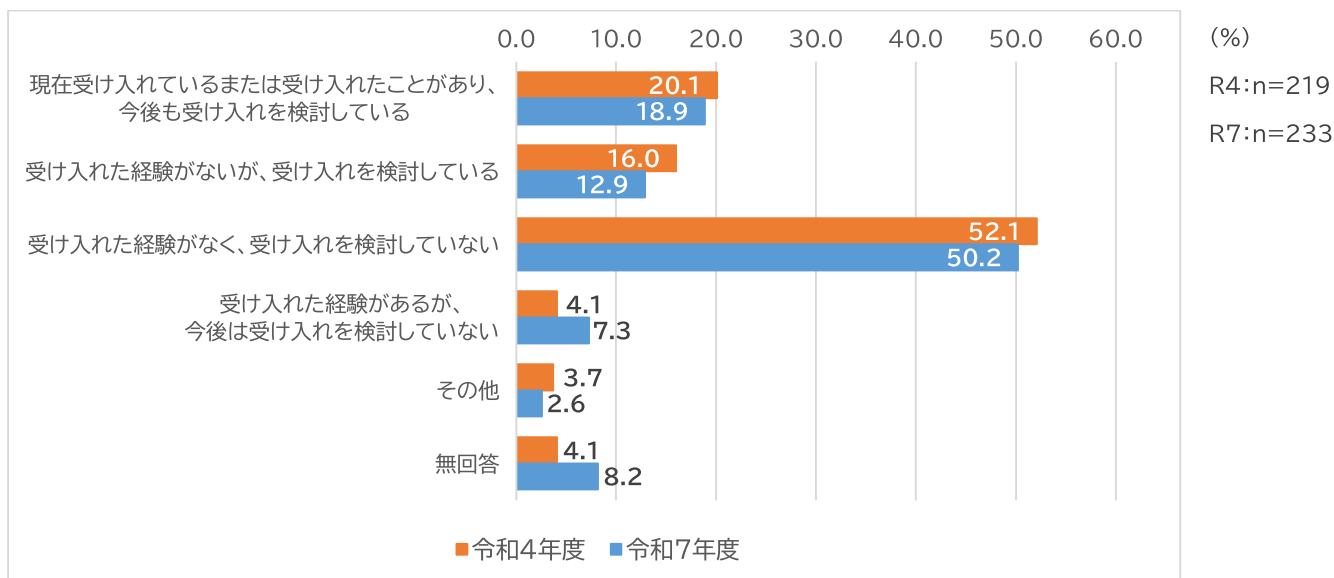
人材確保に向けて必要な公的支援については、「資格取得のための費用助成」が最も多くなっており、「居住費用等の補助」、「介護の仕事の魅力発信等の普及啓発」と続いています。



問 17 貴事業所における、介護職員としての外国人労働者の受け入れ状況について教えてください。

(ひとつだけ○)

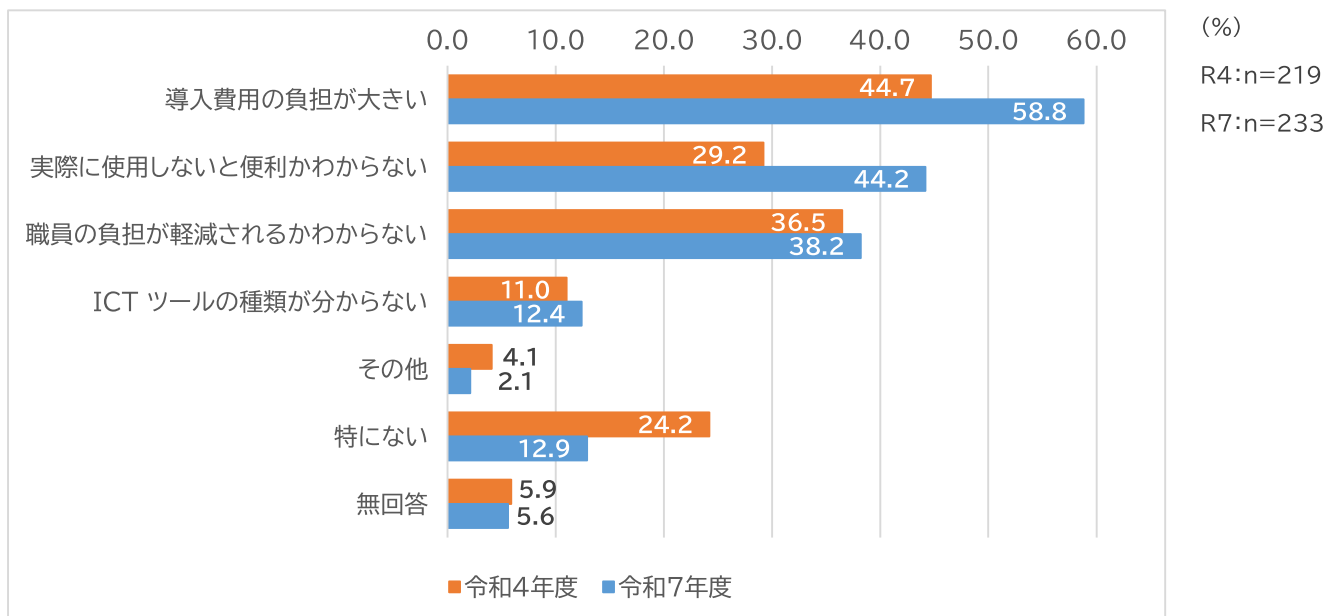
外国人労働者の受け入れ状況については、令和4年度、令和7年度ともに「受け入れた経験がなく、受け入れを検討していない」が最も多くなっています。



問 20 貴事業所において ICT ツールの導入にあたって課題となっていることを具体的に教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

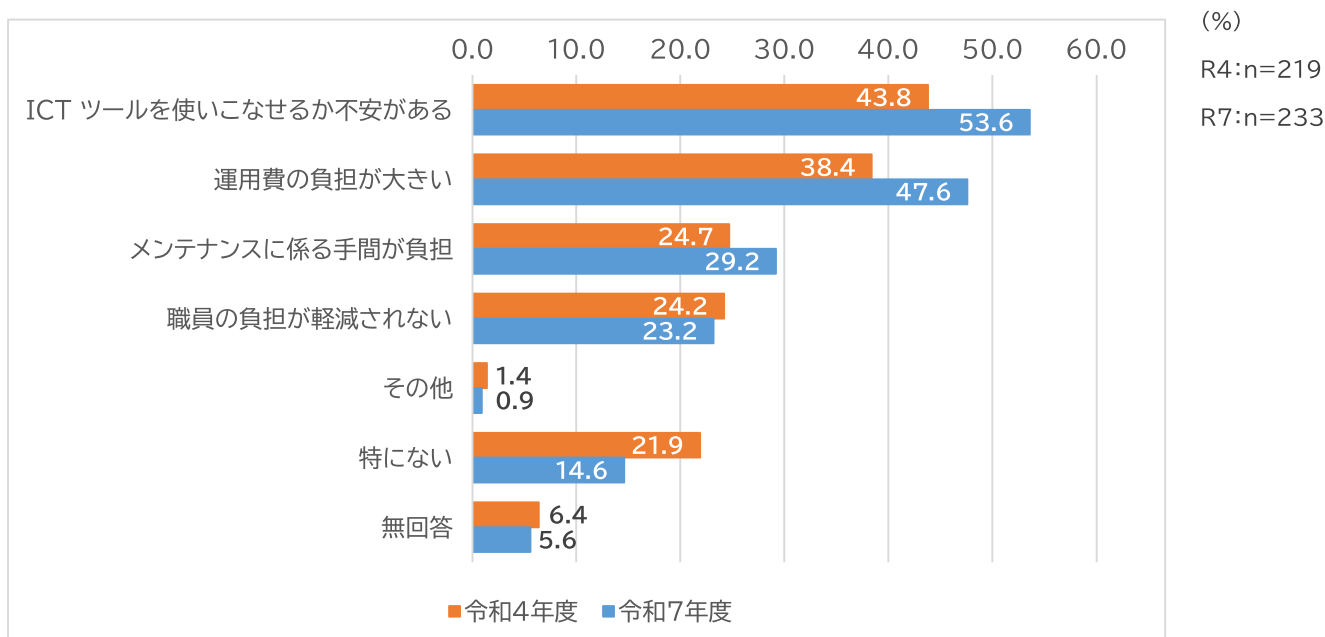
①導入時に関する課題

ICT ツールの導入時の課題については、「導入費用の負担が大きい」が最も多くなっており、令和 7 年度は、令和 4 年度に比べて 14.1 ポイント増加しています。



②導入後の運用に関する課題

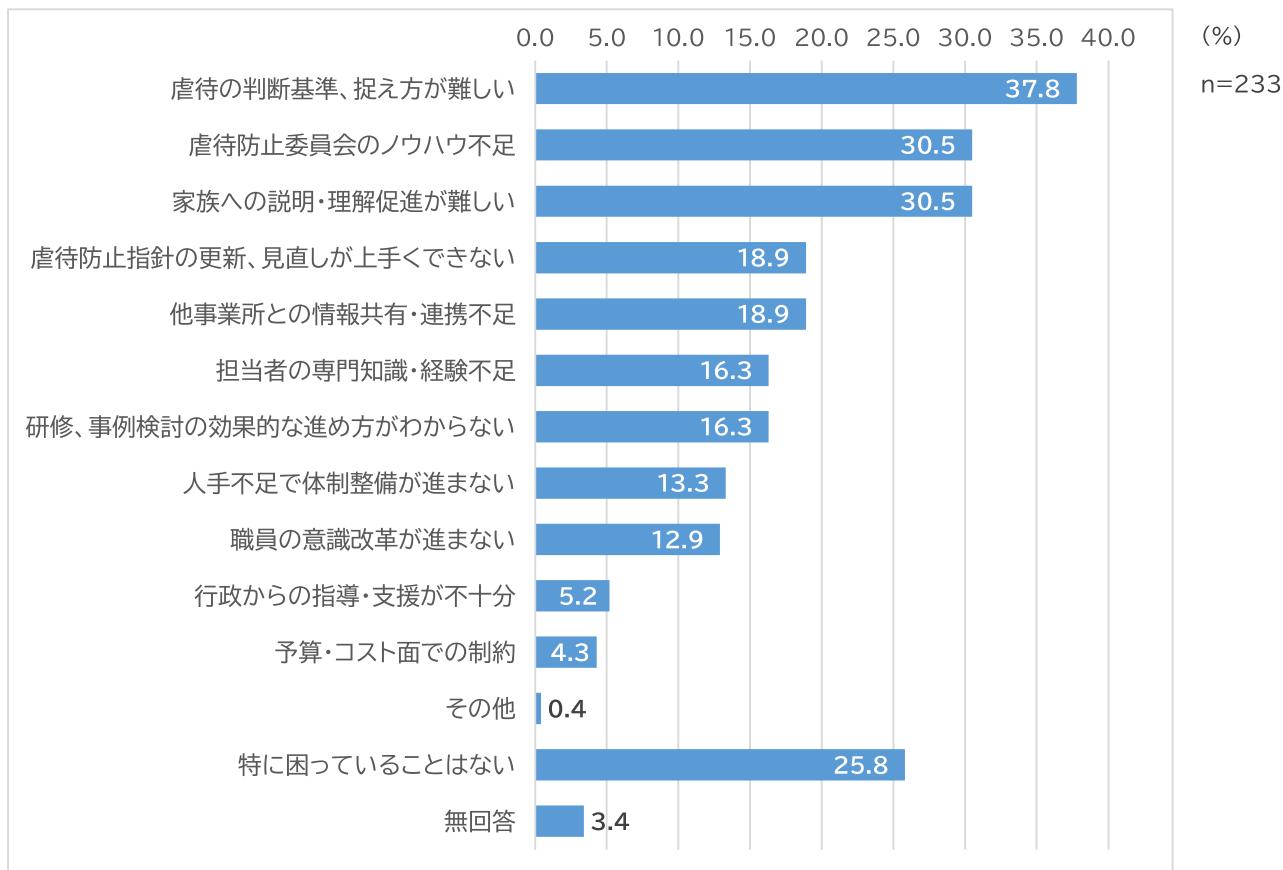
導入後の課題については、令和 4 年度、令和 7 年度ともに「ICT ツールを使いこなせるか不安がある」が最も多くなっており、「運用費の負担が大きい」が続いています。導入時・導入後ともに、費用の負担が大きいことを課題と感じている事業所が多いことが分かります。



★問 32 虐待防止の取り組みを進める上で、現在困っていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

虐待防止の取組に対する困りごとについては、「虐待の判断基準、捉え方が難しい」が最も多くなっており、「虐待防止委員会のノウハウ不足」、「家族への説明・理解促進が難しい」と続いています。



★問 33 虐待防止の取り組みをより効果的に進めるために、どのような支援を期待しますか。

(あてはまるものすべてに○)

虐待防止の取り組みをより効果的に進めるために期待する支援については、「効果的な研修プログラムの提供・紹介」が最も多くなっており、「虐待防止委員会の運営方法に関する研修・指導」、「虐待防止指針のひな型・モデル例の提供」と続いています。

